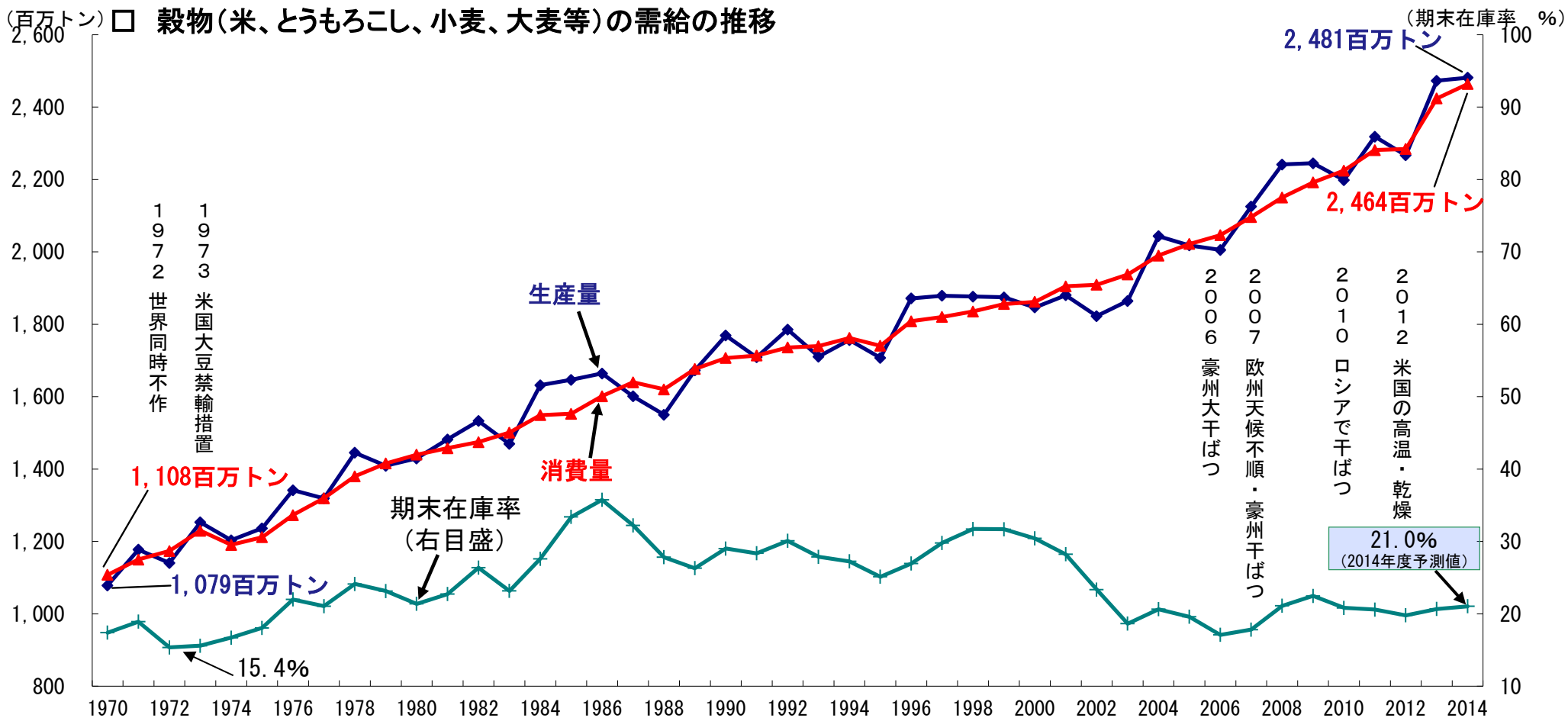


# 資料1 穀物の生産量、消費量、期末在庫率の推移

- 世界の穀物消費量は、途上国の人口増、所得水準の向上等に伴い、1970年に比べ2.2倍の水準に増加している。一方、生産量は、主に単収の伸びにより消費量の増加に対応している。
- 2014/15年度の期末在庫率は、生産量が消費量を上回り、21.0%と2013/14年度（20.7%）に比べ上昇する見込み。



資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(April 2015)、「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」  
 (注) なお、「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」については、公表された最新のデータを使用している。